

# フィンランド教員との 国際公開講座

日時：**5 月 13** 日（金）午前 **9 時 30 分**～**12 時 15 分**

場所：大阪人間科学大学 庄屋学舎 **OHS** ホール・会議室

摂津市庄屋 1-12-13 （自家用車での来場はご遠慮下さい）

内容：講座「フィンランドにおけるテクノロジーの活用と  
福祉向上の可能性」および教員意見交換会（傍聴可）

対象：上記内容に関心のある  
教員、学生、地域の方



問合せ先：大阪人間科学大学 **TEL：06-6105-7104**

**Email：y-hata@kun.ohs.ac.jp**

事前申し込みは、不要です。どなたでもお気軽にお越しください。  
参加費用 無料

主催：大阪人間科学大学・隆生福祉会

## Hanako ネットワークについて

フィンランドでは、高齢社会が進む日本の社会福祉法人や各種教育機関などとの交流を通して、日本とフィンランドが互いに役立つ情報交換をすることにより、双方の国における教育システム、人材育成、福祉サービスなどの向上を目的とする“Hanako—ジャパン・フィンランド ネットワーク”と題したプロジェクトを立ち上げています。このプロジェクトは、フィンランド国家教育委員会の承認を受けたもので、社会福祉法人隆生福祉会様は、2011 年 11 月から年に 2 回のフィンランドでの報告会への参加と学生、教員、職員の交換研修など継続実施されています。

## 大阪人間科学大学と隆生福祉会のコラボ企画

平成 27 年 11 月 10 日、本学の OHS ホールで Hanako—ジャパン・フィンランドネットワークの方々、社会福祉法人 隆生福祉会様と本学の社会福祉学科との交流会が実施されました。交流会の第 1 部では、フィンランドのサントススポーツ大学から実習生として来日されている 5 名の学生よりフィンランドの伝統的なダンスパフォーマンスが行われた後、Hanako—ジャパン・フィンランドネットワークの LAUREA 大学教員より、フィンランドにおけるデジタルストーリーを利用した認知症ケアの紹介が行われました。デジタルストーリーというのは、コンピューターなどのデジタル機器を使用し、画像や音声、字幕などをつけてショートムービーを作成することで、フィンランドではこのデジタルストーリーが認知症ケアの現場で取り入れられており、認知症になった方とそのケアを担当する職員の方が 2 人 3 脚で、過去に撮影した思い出の写真や字幕、ナレーションを使用しながら、認知症の方の人生を振り返るためのムービーを作る取り組みが行われています。認知症の方にとっては自身の人生を振り返ることで前向きになる。また、ムービーの制作をお手伝いする職員の方にとっても、自身が担当している方のこれまでの人生を知ることにより深い信頼関係に結びついているということが報告されました。フィンランドの福祉系の大学では、このデジタルストーリーの手法を学ぶ授業が必修科目として設定されているところもあるそうです。私たちは、福祉とデジタルというテーマに深く感銘を受けました。

## 2016 年 5 月 13 日の国際公開講座と意見交換会のねらい

そこで、今回も Hanako ネットワークの一環として、大阪人間科学大学と隆生福祉会様との 2 回目のコラボ企画の実現となりました。教育や社会保障システムの先進福祉国家として有名なフィンランドですが、フィンランドのテクノロジーと福祉について紹介頂くとともに、是非、日本の福祉とテクノロジーの現状についても聴かせていただきたい、教員方と意見交換したいという趣旨で、今回の企画が実現しております。来日される教員は、TAI・Tredy・Santa Sport・OMNIA・KAO 国立職業訓練校の福祉科教員 5 名とテクノロジー学科の教員等 3 名の計 8 名です。なお、高齢者福祉分野が専門の教員が多いと聞いております。

第 1 部の国際公開講座では、代表教員よりフィンランドにおける福祉とテクノロジー化について、その現状をお聞きしたいと考えております。第 2 部の意見交換会では、日本の福祉とテクノロジーの現状に焦点を当てながら、フィンランドサイドにも有益となる情報や発想、アイデア、考え方の交換ができることを意図しております。

当日は、日本語とフィンランド語の通訳が入ります。質問やご意見等も日本語で大丈夫です。福祉と国際交流というキーワードにご関心のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。